

自己触診普及啓発

乳がん早期発見のために

大内 清心 議員

答弁…乳がんの自己触診方法について、ホームページへの常時掲載に向け検討するほか、検診会場や健康まつり会場での啓発により、周知してまいります。

大内 乳がんは現在、我が国で最も増加率の高いがんの一つであります。がんの唯一自分で発見できるがんでもあります。他市では、ホームページに分かりやすく乳がんのセルフチェック方法を掲載するなど、若い女性へ早期発見を促す取り組みが行っております。

また、定期的な自己チェックの時期や回数、目安、視診と触診の方法についてイラスト入りで解説するとともに、検診の受診を呼びかける「乳がんチェックシート」を健康診断時に無料で配布しているところもあります。本市における自己触診方法のホームページ掲載と「乳がんチェックシート」の配布について考えをお伺いします。

地域リーダーの育成

地域リーダーの育成対策は

栗原 肇 議員

答弁…市民活動の底上げと活動のけん引役となる地域リーダーの育成を図りながら、市民と行政の協働によるまちづくりの推進に努めてまいります。

栗原 まちづくりの基本である人材を育成し、さまざまな場面で活躍すること、すばらしいまちづくりが自然にできると思えます。個性豊かなまちづくりを進めるためには、アイデアと実行力のある地域リーダーを育成し、活動を支え、活用していくべきだと考えます。住民の中から盛り上がった意欲を生かし、今後のまちづくりの中心とするために、人材を育成することが重要であります。地域リーダーの育成対策についての考えをお伺いします。

また、「市民主体の「まちづくり市民会議」や「加須市市民活動ステーション」（通称・くらくら館）などへの支援は各団体の活性化のみならず、後継者の育成にもつながるものと考えています。このほか、毎年「全国地域リーダー養成塾」にまちづくり団体や職員から希望者を募り、派遣してまいります。今後、さまざまな取り組みを通じて、市民活動の底上げと活動のけん引役となる地域リーダーの育成を図りながら、市民と行政の協働によるまちづくりのさらなる推進に努めてまいります。

土地利用促進

騎西城南産業団地のさらなる土地利用促進は

小坂 裕 議員

答弁…最終的には市にとって、絶対プラスになるという視点に立って、全力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

小坂 本年2月、圏央道が茨城県内で全線開通し、交通アクセスは飛躍的にアップしました。そのため、企業の立地ニーズが非常に高まってきており、県としても市としても、産業団地の用地の確保が喫緊の課題となっていると思っております。

騎西城南産業団地北側の開発は、農業振興地域内の農用地区域であることから、いろいろなハードルがあることは、理解しております。しかし、そのハードルを越えることが必要であると思っております。絶対プラスになるという視点に立って、全力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。